

第14期第2四半期 株主通信

〔 2011年4月 1日から
2011年9月30日まで 〕



フューチャーベンチャーキャピタル株式会社



ご挨拶



株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当社の事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第14期第2四半期の決算、並びに事業の概要についてご報告するにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当期間の日本経済は、東日本大震災の余波が色濃く残る中にありながら、一部では消費、設備投資ともに持ち直しの動きを見せています。一方、欧州諸国の財政危機や世界各地の自然災害が大きな不安をもたらしています。株式市場は先行きの不透明さを表すように高下し、9月下旬には日経平均株価が年初来安値を更新しました。

そのような中、企業の新規上場は12社と、絶対数は少ないものの前年同期の9社から増加し、また、上場後の初値が公募価格の倍以上となる事例が出る等、ベンチャーキャピタルにとっては一筋の光明が見えてきております(4頁⑦)。

以上の環境にあって、当社は短期的な財務安定性を確保すべく、新たにインキュベーション型シェアオフィス事業を開始する等、収益機会の拡大を進めることと合わせ、経費水準を抑制して収支の均衡を図ってまいりました。これらの活動の結果、当社が管理・運営する投資事業組合で発生する損益を控除した営業損益は、前期に続き黒字を維持しております(4頁⑤)。

投資活動においては、2008年3月期をピークに新規投資額が減少し続けておりますものの、過去に投資した企業の回収を進めております。中でも3月の(株)ピーエスシーに続き、10月に(株)スリー・ディー・マトリックス、11月にはベルグアース(株)がJASDAQに新規上場し、2006年以来5年ぶりに複数の投資先企業が新規上場することとなりました。

当期の経営成績を見てまいりますと、投資事業組合から受領する管理報酬、投資事業組合で保有する営業投資有価証券の売却高ともに減少したことを受け、売上高は214百万円、前年同期比97百万円の減収となりました(3頁①)。一方、営業投資有価証券に係る投資損失引当金の新規繰入額、減損額ともに大きく減少したことから、四半期純損失は57百万円となり、同92百万円赤字幅が縮小したものの、引き続き赤字計上となりました(3頁③)。

財政状態に関しましては、9月に第三者割当による新株式の発行を行い、(株)カネカの他2者から計128百万円の払い込みを受けたことにより、純資産の額は175百万円となり、赤字ながら74百万円増加しました(3頁④)。この第三者割当による新株式の発行により、既存株主の皆さまには31%の希薄化を強いることとなりましたが、当社としましては、以下の施策推進により当社の企業価値を向上させることで、株主の皆さまの利益を追求する考えであります。

今般調達した資金は、新規で設立する投資事業組合への出資金、及び割当先と共同で推進する新規事業への投資等に充当することで、収益源の再拡大を図ります。また、本業のベンチャーキャピタル業務においては、投資収益が期待できない投資先企業に費やす労力を未然に抑制し、その分可能性のある投資先企業に対して、割当先をはじめとする事業会社との連携を強化しながら、企業価値向上に向けたあらゆる支援を実施いたします。これらを通じ、当社のビジネスモデルを上場一辺倒のものから真に脱却し、早期に安定的な黒字体質を実現することで、皆さまの長らくのご支援にそえるよう、努力を重ねてまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2011年12月
代表取締役社長 今庄 啓二

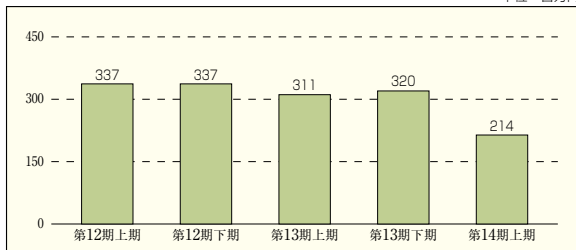
※当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に子会社及び投資事業組合の、当社持分のみを連結した財務数値を記載しております。



業績ハイライト

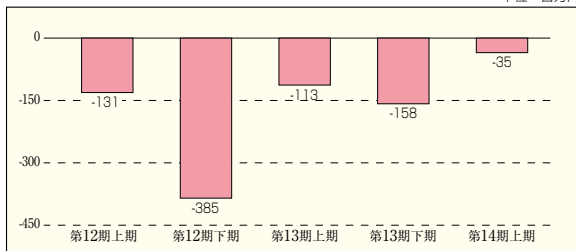
① 売上高

単位：百万円



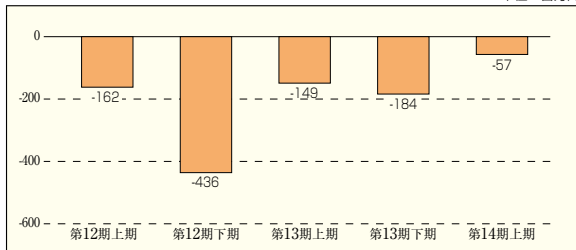
② 営業損益

単位：百万円



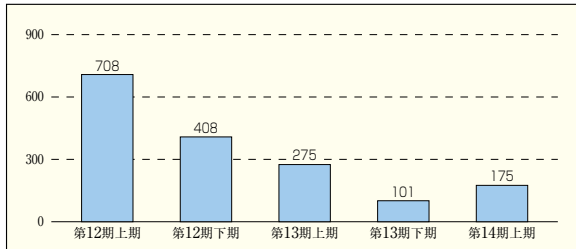
③ 当期純損益

単位：百万円



④ 純資産

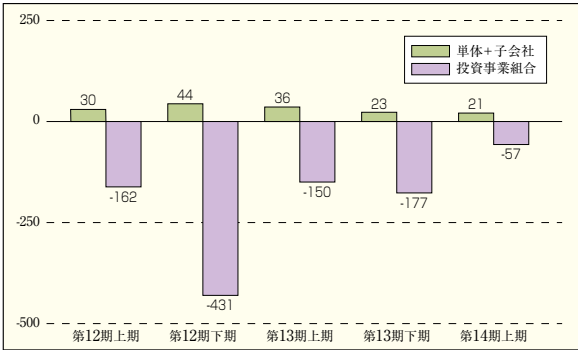
単位：百万円





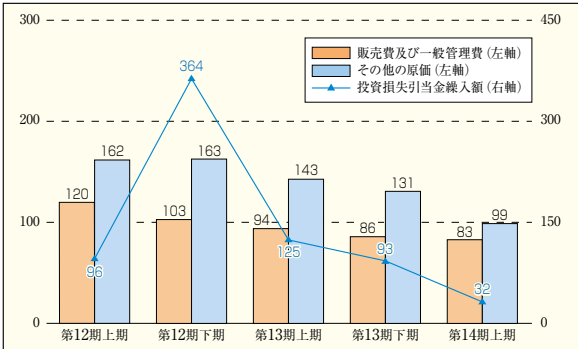
⑤ 営業損益内訳

単位：百万円

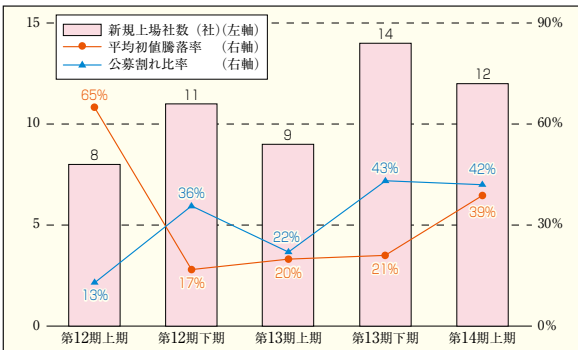


⑥ 諸経費及び投資損失引当金繰入額の推移

単位：百万円



⑦ 新規上場市場の状況

初値騰落率 $\{(初値 - 公募価格) \div 公募価格\} \times 100$

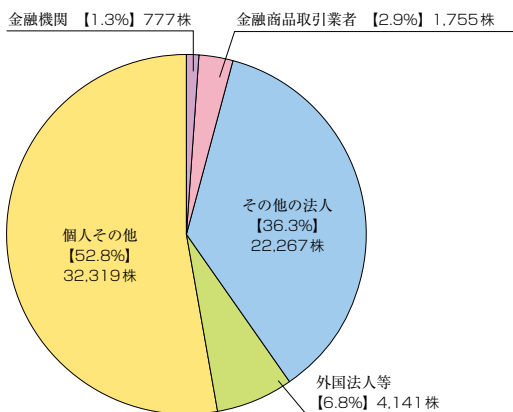
公募割れ比率 新規上場企業のうち、初値が公募価格を下回った企業の比率



株式データ

- ・発行可能株式総数…………… 180,000株
- ・発行済株式の総数…………… 61,259株
- ・株主数…………… 1,381人

所有者別株式分布表



大株主の状況

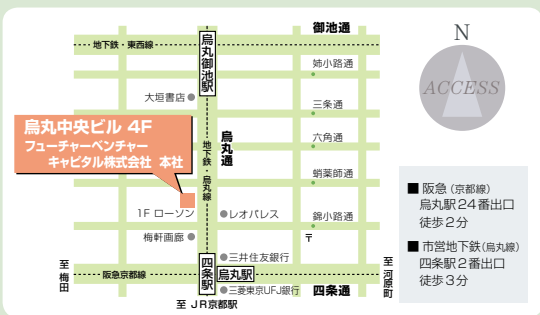
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
1 株式会社カネカ	11,024株	18.0%
2 川分 陽二	2,869株	4.7%
3 Total Network Holdings Limited (常任代理人 栗林総合法律事務所)	2,691株	4.4%
4 古川 令治	2,570株	4.2%
5 古我 知史	2,244株	3.7%
6 賀川 正宣	1,808株	3.0%
7 関西サービス株式会社	1,800株	2.9%
8 藍澤証券株式会社	1,620株	2.6%
9 坂本 友群	1,590株	2.6%
10 JCW株式会社	1,477株	2.4%

(注) 1. 出資比率は自己株式を控除して小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
2. 当社は、2011年9月30日現在、自己株式を12株保有しております。

会社の概要 (2011年9月30日現在)



- 商 号 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
- 設 立 1998年9月11日
- 資 本 金 20億4,860万円
- 従 業 員 数 29名
- 本 社 〒604-8152
京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地 烏丸中央ビル4階
- 管 理 部 TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601
- 営 業 部 門 TEL:075-257-6656 FAX:075-211-6965



- 東京事務所 〒105-0001 【12月28日移転予定】
東京都港区虎ノ門二丁目7番5号
ビュレックス虎ノ門2階
- 地域拠点

青森事務所
金沢事務所
神戸事務所

岩手事務所
三重事務所
愛媛事務所

山形事務所
堺事務所

役員 (2011年11月30日現在)

代表取締役社長	今庄啓二	取 締 役	鈴木智久
取 締 役	小川 淳	取 締 役	松本直人
常勤監査役	岩坪安浩	監 査 役	岡部陽二
監 査 役	小川忠久		



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fvc.co.jp/

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地 烏丸中央ビル4階
TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601
<http://www.fvc.co.jp/>